



『牧神の午後』(L'Après-midi d'un Faune) 1912 振付・主演：ワツラフ・ニジンスキー

主な出展リスト

- ◆ 画：ルートヴィヒ・カイナー／『バレエ・リュス』／限定書籍／ドイツ／1913年(AB-31)
『アルミードの館』『ボロヴェツ人の踊り』(オペラ『イーゴリ公』より)『ル・カルナヴァル』
『シェエラザード』『火の鳥』『薔薇の精』『ペトルーシュカ』『タマール』『牧神の午後』
- ◆ 画：ロベルト・モンテネグロ／『ワツラフ・ニジンスキー・黒・白・金で彩られた作品の芸術的解釈』／
限定書籍／イギリス／1913年(AB-19)
『レ・シルフィード』『ル・カルナヴァル』『シェエラザード』『レ・オリエンタル』『薔薇の精』
『ナルシス』『ペトルーシュカ』『青神』『牧神の午後』『遊戯』
- ◆ 撮影：エミール・オットー・ホッペ／『ロシア・バレエからの研究』／限定書籍／イギリス／1913年(AB-20)
『アルミードの館』タマラ・カルサヴィナ 『シェエラザード』ワツラフ・ニジンスキー
『火の鳥』タマラ・カルサヴィナ&アドルフ・ホルム 『薔薇の精』ワツラフ・ニジンスキー&タマラ・カルサヴィナ
『タマール』アドルフ・ホルム&タマラ・カルサヴィナ

Kenji Usui Ballet Collection

Ludwig Kainer & Roberto Montenegro - The Arts of Ballets Russes -

2021/1/26 (Tue.) ~ 2021/3/7 (Sun.)
(休館日はwebでご確認ください)

© 企画・監修

関 典子(せき・のりこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター
Noriko Seki (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

舞踊家・振付家・舞踊研究者。幼少よりクラシックバレエを学び、18歳でコンテンポラリーダンスに転向。お茶の水女子大学大学院博士後期課程を経て、現在、神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授。日本ダンス評論賞・兵庫県芸術奨励賞・神戸市文化奨励賞等受賞。

若林絵美(わかばやし・えみ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・アシスタントキュレーター
Emi Wakabayashi (Assistant Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

後藤俊星(ごとう・しゅんせい) / 薄井憲二バレエ・コレクション・アシスタントキュレーター
Shunsei Goto (Assistant Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二 バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22 tel: 0798-68-0223 (代表) fax: 0798-68-0212

禁転載・複製・引用

Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二 バレエ・コレクション 2021 企画展

ルートヴィヒ・カイナーとロベルト・モンテネグロ ～バレエ・リュスを描き分けた画家たち～

2021/1/26 (Tue.) ~ 2021/3/7 (Sun.)

今から約100年前、1909～1929年のたった20年間だけ存在した奇跡のカンパニー「バレエ・リュス」。本展では、その舞台に魅了された画家たちの絵画・版画をご紹介します。

淡い色調で柔らかなタッチを用いた、ドイツの画家ルートヴィヒ・カイナー(1885-1967)。黒・白・金の限定した色彩と細密な線が特徴的な、メキシコの画家ロベルト・モンテネグロ(1885-1968)。両者の作風は対照的ですが、奇しくも同じ年に生まれ、バレエ・リュスと同時代を生き、1913年(当時28歳)に、それぞれ限定画集を出版し、バレエ・リュスの魅惑的な作品群を、描き出しました。

バレエ・リュス団長のセルゲイ・ディアギレフは、映像を舞台芸術の敵とみなし、その当時の記録映像はほとんど皆無であると言われます。鮮やかに描き出された絵画を見つめ、想像力の翼を広げれば、映像に残ることなくこの世を去った伝説のダンサー、ワツラフ・ニジンスキーの踊る姿、数々の伝説的な作品のありようを、見出していたくことができるかもしれません。

Hyogo Performing Arts Center

Roberto Montenegro



『薔薇の精』(Le Spectre de la rose) 1911 振付：ミハイル・フォーキン / 主演：ワツラフ・ニジンスキー、タマラ・カルサヴィナ



『ペトルーシュカ』(Petrouchka) 1911 振付：ミハイル・フォーキン / 主演：ワツラフ・ニジンスキー、タマラ・カルサヴィナ他



『シェエラザード』(Scheherazade) 1910 振付：ミハイル・フォーキン / 主演：ワツラフ・ニジンスキー、イダ・ルビンシュタイン



Ludwig Kainer

ルートヴィヒ・カイナー Ludwig Kainer 1885-1967

ドイツの画家・イラストレーター・映画美術・衣装デザイナー。当初は医学を学んでいたが、芸術に転向。1909年のパリ滞在中、ポール・セザンヌ、アンリ・マ蒂斯、ピエール＝オーギュスト・ルノワールら印象派たちに触れ、独学で学んだ。ドイツの雑誌『ジンプリチムス』などに挿絵を提供。1913年、限定書籍『パレエ・リュス』を出版。パレエ・リュスを描いた他の画家が、線描や明瞭な色彩を主として用いたのとは対照的に、カイナーは淡い水彩画のようなタッチで独自の作風を發揮した。1910年にドイツに戻るとベルリンに定住。ポスター・デザインや本の装丁などを手掛けた。第一次世界大戦勃発後、カイナーは映画業界に転向し、装置や衣装のデザインを担当。『会議は踊る』の映画監督エリック・シャルレとも仕事をしている。ベルリンにあるライマン学校の教師も務め、ファッションドローイングなどを教授した。

— 画：ルートヴィヒ・カイナー『パレエ・リュス』ドイツ 1913年

ロベルト・モンテネグロ Roberto Montenegro 1885-1968

メキシコの画家。サン・カルロ美術学校で学び、奨学金を得て渡欧。1907～1914年はパリに滞在、パブロ・ピカソ、ファン・グリスら、最先端の芸術に触れる。シャトレ座やシャンゼリゼ劇場にて、ワツラフ・ニジンスキー、タマラ・カルサヴィナらが出演し、アレクサンドル・ブノワやレオン・バクストが美術を担当したパレエ・リュス公演を鑑賞。後に「彼らはパリのファッションに革命をもたらした」と回想している。幻想と装飾に満ちた独自の作風で、限定書籍『ワツラフ・ニジンスキー：黒・白・金で彩られた作品の芸術的解釈』（1913）を出版。メキシコ画壇、プスコ画の創始者として、また自ら民芸品を収集するなど、祖国の文化に貢献。油彩・水彩・版画・肖像画・挿絵のみならず、随筆・詩作においても才能を發揮し、ラテンアメリカを代表する芸術家として幅広く活躍。

— 画：ロベルト・モンテネグロ『ワツラフ・ニジンスキー：黒・白・金で彩られた作品の芸術的解釈』イギリス 1913年